

## 学習塾の危機管理を考える

事業継続計画(BCP, Business Continuity Plan ビジネス・コンティニュイティ・プラン)とは

開倫塾  
塾長 林明夫  
([www.kairin.co.jp](http://www.kairin.co.jp))

### 1. 本日の講演の目的

- (1) 3.11 東日本大震災・大津波・原発事故発生に伴う社会的混乱、消費の冷え込みにどう対処するか。
- (2) M9.1 スマトラ沖大地震の 3 か月後に、M8.4 の大余震が発生。同様に、将来、東日本大震災に連動する大余震、大津波、火山の大噴火が発生した場合に、どのように対処するか。
- (3) 以上も含め、天災や人災、労務トラブル、事故に対応した「事業継続計画、BCP Business Continuity Plan」をどのように策定し、普及と実行につとめたらよいのかを考えたいと思います。

### 2. 事例紹介

開倫塾の事業継続計画(BCP, Business Continuity Plan)

#### (1) 考え方の基本

企業は原則倒産。

校舎は原則閉鎖。

昨年のように今年があり、今年のように来年があると思っていると、2 年後はない。

大規模自然災害や事件・事故は、これを促進する大きな要因となる。

開倫塾では経営の基本方針(「学ぶに値する塾づくり」、「働くに値する職場づくり」、

「倒産しない会社づくり」)を貫き通すために、「事業継続計画」を新型インフルエンザ発生時に策定。3.11 東日本大震災発生時にあたっては実行に移している。

- (2) 最も大切なこと、最優先すべきは、塾生と保護者、地域社会、ビジネスパートナー、そして何よりも教職員の生命と安全

(3) 司令塔は一本化

校舎運営上のすべての業務指示は、塾長直轄の校舎運営部長が毎日出し続ける。

校長は、毎日のように出される業務指示書を参照し、できるだけ誠実に業務を執行。困ったことや気がかりなことがあれば、直接、担当の上司に相談。問題点を先送りにしない。

被災者には月謝等を減額または全額免除。ただし、校長は総務部長と相談し、許可を得ること。

(4) 資金繰り担当は、各取引先銀行に複数回行って BCP を説明し、最悪のケースを予想してその場合は緊急融資を申し入れる。

ただし、その前提として、公認会計士の監査済みの四半期決算書を四半期毎に提出し、説明する。

(5) 塾長は、3月11日より、全塾生と全教職員向けに励ましのメッセージを書き、全校舎に送り続ける。(HPでも毎日公開)

3. こんな「危機」の時はどうするか。 普段からシュミレーションをし、心構えと対策を

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

4. あきらめたらおしまい。自分の未来は自分の力で切り開こう。

(1) ただし、やるのは自分一人ではない。仲間がたくさんいる。

(2) リスク・マネジメントの研究成果もある。

(3) 自分の頭で考え、仲間の協力を仰ぐ。

以上

がんばりましょう!

御清聴を感謝申し上げます。